

大麻草研究栽培者免許取得に関するお知らせ

－ 国産カンナビジオール事業の本格始動に向けた重要な経営基盤を確立 －

2026年7月8日

株式会社プラントライフシステムズ

株式会社プラントライフシステムズは、このたび、大麻草に関する研究栽培および関連研究を実施するため、関係法令に基づく所要の許認可・管理体制のもと、研究開発体制を整備いたしましたので、お知らせいたします。

本体制の整備は、カンナビジオール（以下「CBD」といいます。）を含む大麻草由来成分の研究開発、ならびに栽培技術・成分管理技術の高度化に向けた重要な基盤となるものです。

当社は今後、関係法令および所管行政機関の指導を遵守し、厳格な管理体制のもとで、大麻草に関する研究開発を適法かつ安全に推進してまいります。

1. 免許取得の意義

CBD は、医療、健康食品、ウェルネス、化粧品、機能性食品、ペット関連等で成長が期待される植物由来成分です。世界の CBD 市場は、2023 年に約 228 億米ドル、2024 年から 2032 年にかけて年平均 17.9%で成長し、2032 年には約 1,080 億米ドルに達するとの予測がなされております。一方、国内では法令遵守、安全性管理、成分管理およびトレーサビリティの確保が厳格に求められ、研究・事業化の双方に高い参入障壁があります。また、当社の調査では、民間事業会社が大麻草研究栽培者免許を取得した事例は国内で初めてであると認識しております。これは、当社の研究目的、管理体制および技術的基盤が、関係法令の趣旨に照らして慎重に確認された結果であり、当社の研究開発体制および管理体制の先進性を示すものと考えております。

当社が取り組む大麻草の安定栽培技術および THC 管理を含む成分制御技術は、将来的な国産 CBD 原料の安全かつ安定的な供給基盤につながるものです。当社は、法令適合性を備えた研究栽培体制を競争優位の源泉とし、国内 CBD 関連事業での優位性確立を目指します。

2. 当社が目指す CBD 事業の方向性

当社は、植物の成長や成分形成の機序解明に基づく技術を大麻草分野へ応用し、CBD 事業を以下のように推進します。

(1) 研究開発

CBD を高効率に生産し得る大麻草の安定栽培技術、CBD 含有量の最適化、THC 管理を含む成分制御技術の高度化に取り組み、法規制対応と品質安定性を両立した研究開発を進めます。

また、CBD の製品利用上の課題として、輸送時の温度変化や衛生消毒時の熱・薬剤等により CBD が THC へ変換（置換）する可能性が指摘されていることから、当社は、その変換を抑制・制御する技術の開発にも取り組みます。

(2) 事業基盤構築

研究成果をもとに、当社または当社グループでの CBD 原料生産体制を整備するとともに、外部事業者向けの栽培技術支援、設備導入支援、研究支援、免許取得支援等を展開します。また、加工、分析、製品開発、販売等の企業連携も進めます。

(3) 収益拡大

将来的には、国産高品質 CBD 原料の供給、抽出・精製事業との連携、機能性素材・化粧品・ウェルネス分野への展開を推進します。さらに、栽培ノウハウや設備・運用技術をパッケージ化し、ライセンス収入や継続課金型の技術支援収入へ発展させることで、高収益かつストック性の高い事業構造を目指します。

3. 本件がもたらす成長可能性

CBD 事業には、①世界市場の拡大、②輸入依存度の高い国内市場における国産原料の代替余地、③医療、健康食品、ウェルネス、化粧品等への用途拡大、④当社既存技術とのシナジー、⑤企業連携による拡張性があると考えております。

当社は、本免許取得を契機として、研究開発型企业から、高付加価値植物原料・成分・栽培技術を総合的に提供する成長企業へと進化することを目指します。

以 上